

「少女たちの
課外授業」





本編の始まる前の会話の抜粋

・ナオ先輩のお部屋を掃除してた時の事

「ベッドでの技術もオトメにとっては大事な必修科目なのよ」

「そ、そ、そうなんですか？」

「まあ途中からの編入じゃ知らないのも無理ないか…」

「それじゃあ…ナオ先輩が教えてくれたり？」

「あたしゃテク無しには興味が無いからね…二十にでも教わって多少使えるようになったら相手してあげるよ」

「あう…」

・部屋に帰ってから二十ちゃんとエルスちゃんに報告

「って、事だったんだけど」

「本来は本科生になってからの履修科目なんだけどね」

「そうなんだ」

「でも、その…コーラルでもお部屋係の時に予習をしていただく事もあるの」

「なるほど～それじゃエルスちゃんはアカネ先輩に？」

「ええそうよ、あとは人によってはルームメイト同士でする事もあるけど」

「二十ちゃんと？」

「…いえ、二十ちゃんはあまりこの科目が好きじゃないみたいだから」

「私は、そういうのは本科生になってからでいい」

「えー、でも必要な事なら、あたしは今からでもしたいよ！」

「…私で良ければ、お相手するよ？」

「本当？ エルスちゃんありがとう！」

「…勝手にして、私は……」

「駄目だよ二十ちゃん！」

「!？」

「ここでちゃんと練習して一緒にナオ先輩のお世話をしないとなんだからね！」

「アリカ…」

「アリカちゃんの言うとおりでよ…一緒にね、二十ちゃん」

「……………分かったわよ」

アハハ…
「覚悟を決めた」
なんて言っことはみたくけど
恥ずかしい物は恥ずかしいね

思ったよりもピロピロ音が
はみ出てるなあ…

そう言われれば
確かに…

自分で言い出したくせに
意外と恥ずかしがるのね

だつてニナちゃんが
すごい目であたしのアソコ
じーっと睨んでるんだもん

そ…そんな事ない！
じーっとだなんて…！

でも私も
アリカちゃんのこと
とても可憐で
目が離せないよ

えへへ
照れちゃうよ
イルスちゃん

あたしよん
子供っぽいこと
言われるのね…

あんまり
あたしっぽく
ないかな

ううん
アリカちゃんの
可愛くて元気な性格と
ピッタリお似合だよ

ありがとう
イルスちゃん

…アリカが
子供っぽいと
言うなら
私は
どうなるのよ

でもニナちゃんは
あたしなんかよりも
ずーっと大人っぽいよ！

うわー
エルスちゃんのアンコはやっぱり
大人の色気がムンムンだね
おっぱいはいつ見ても
大きくて柔らかそうなんだけど
更に魅力倍増というか

そうかな...
自分じゃよく分からないんだけど

身体はエッチっぽくて
でも清楚な
エルスちゃんだから
その差がまた
魅力的なんだな

...ありがとうアリカちゃん
本当は可愛くない自分の体に
コンプレックスがあるんだけど

ちょっとだけ...
自信持ってみるね

うん!

アンコの中も
お尻の穴も
ちゃんと
見みるの
初めてだけど
可愛いんだね...

ねえねえ、ナちゃん
そばに来てよ

で...
色々
教えてほしいな

分かった...
それでは
色々
やってみようか

うん...

ふむ...
エルスはやはり
胸と同じように
小陰唇や陰核も
成長が早いな

ナオ先輩と
見比べても
全く見劣りしない

アリカは...
まあ
それなりね

色は
まだピンクで
子供っぽい
アリカには
お似合いかも



あ…エルスちゃんに剥かれちゃった…

クリトリス
見せてもらおうつと



強さはこれぐらいがいいか…

あん…
身体ビクッと
しちゃう…



自分の遺志でする分には気にしないわよ…
初めてでもないし

そつか…
でもあたしの方はファーストキスだよ奪われちゃった

…バカ

あ…一子ちゃん…ん…
キス…
しちゃっていいの…

間近で見ると改めて綺麗なね
アリカちゃんのこと…
可愛がつてあげられるの嬉しいな

ああ…
恥ずかしいけど嬉しい…
大好きなエルスちゃんに
触られてるの…



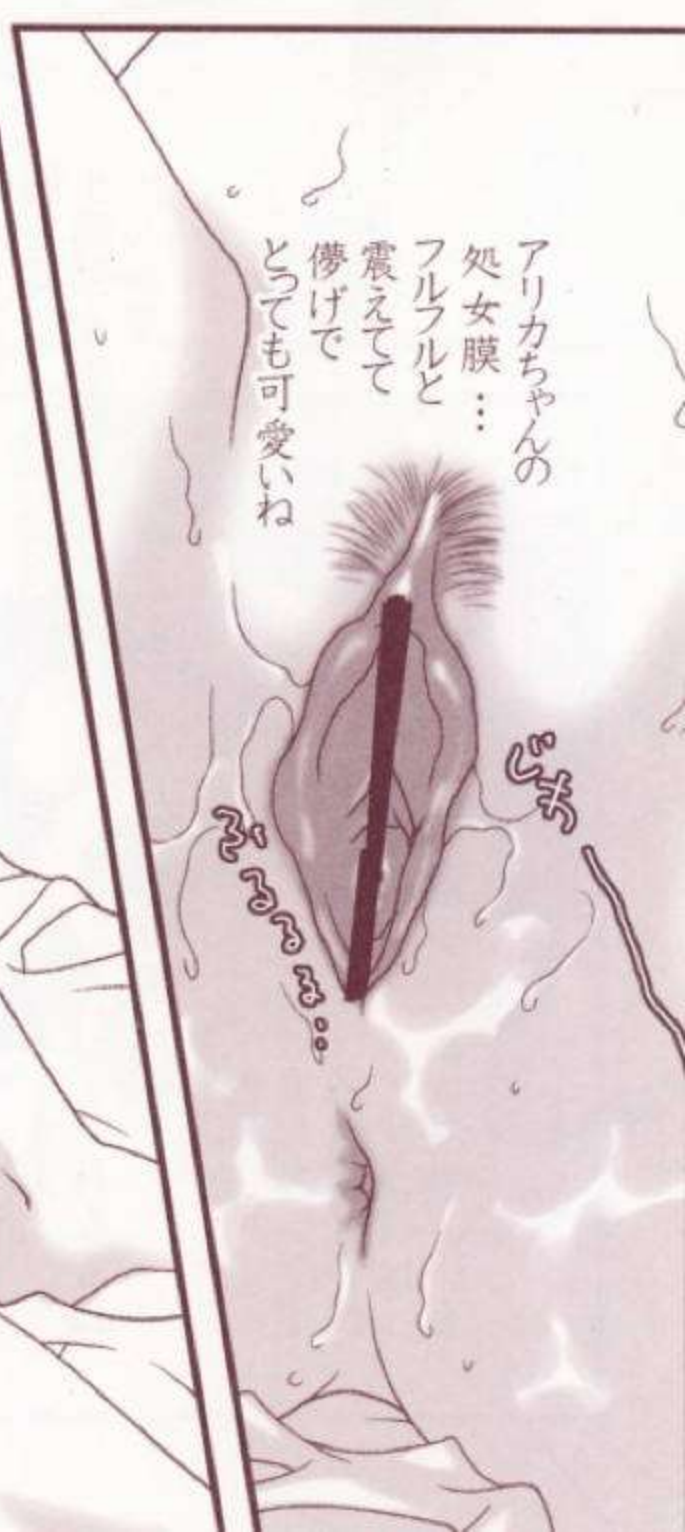
随分と良くなってきたみたいね

ああん…
乳首もクリトリスも
気持ちいいよあ…

ふふ…
このアリカは可愛くて悪くないな…

ん…んん…
アリカちゃんのこと
沢山キスするね

あ…ああ…
何かきちゃう…
あ…ダメ…
きちゃうよ…



アリカちゃんの処女膜…
フルフルと震えてて
儚げでとても可愛いね



♡
X
♡

X
X
X
X
X
♡

ん
♡

X
♡
♡

F
♡

K
♡

K
♡

K
♡

♡
♡
♡



発行 恋愛漫画家
発行者 鳴瀬ひろふみ
発行日 2005 12 30
印刷所
連絡先
HP